

科目ナンバー： 研究・CNS：MC7073

授業コード： 6630700600

講義科目名称： 老年看護学特別演習Ⅱ

英文科目名称： Seminar of Gerontological NursingⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1・2学年	2単位	選択 老人看護CNS必修
担当教員			
◎原等子、小長谷百絵、遠藤英寿、田中美紀、高橋由貴子、山上徹也			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎原 等子 小長谷 百絵 遠藤 英寿 田中 美紀 高橋 由貴子 山上 徹也	【所属】 新潟県立看護大学 同上 いのちファミリークリニック院長 (社)認知症の人と家族の会新潟県支部 内田病院 群馬大学大学院保健学研究科	【研究室】 303 213	【メールアドレス】 naohara@niigata-cn.ac.jp konagaya@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 専門分野			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
	研究	◎	○	○
	CNS	○	○	○
	助産			○

到達目標	<p>1. 認知症の疫学、最新の診断と治療・療法に関する知見を説明できる。</p> <p>2. 認知症に関連する多様なアセスメント方法を学修し、認知症の進行抑止、行動障害の予防・緩和ならびに発症から終末期に至るまでの心身の回復や安寧に貢献する看護実践、生活環境の調整、家族やスタッフからの相談対応、尊厳を守り倫理的意思決定に対応できる。</p> <p>3. 認知症ケアに関連する地域活動への参加や実践家との討論を通して、老年看護高度実践者としての役割、課題について述べるができる。</p> <p>4. 認知症の看護について実践的研究課題について探究するプロセスを述べるができる。</p>
------	---

授業概要	<p>学習課題に関する看護実践に関する文献購読、認知症当事者（本人・家族）の手記や講演録の視聴、認知症のアセスメントや評価法の演習、認知症ケアが行われている臨床の場の見学や地域活動への参加、認知症の診断治療およびケアの専門家との討議を中心にすすめる。</p>
------	---

授業計画	1	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：認知症ケアの歴史と展望</p> <p>学修内容：認知症ケアの歴史、共生社会の実現を推進するための認知症基本法（認知症基本法）、「認知症の人と医療機関の架け橋となる看護への提言」（日本老年看護学会）</p> <p>事前学修：認知症を持つ人と自身のかかわり（家族として、仕事として）を振り返ってみましょう</p> <p>事後学修：認知症ケアの歴史を踏まえ、今後の自身の認知症を持つ人とその家族へのかかわりを考えてみましょう</p> <p>備考：原</p>
	2	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：認知症の医学的基礎知識①</p> <p>学修内容：・認知症の定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な認知症の種類と病態生理（原因疾患を含む）および行動・精神心理症状 ・認知症の診断と治療 ・主な認知症の進行・経過・予後 <p>事前学修：認知症の種類とその診断・治療について、自身の地域の状況を調べてみましょう（診断治療機関の有無、若年認知症支援の状況など公的支援サービスの状況など）</p> <p>事後学修：自身の地域における認知症の診断治療の課題について考えてみましょう</p> <p>備考：遠藤</p>
	3	<p>授業内容</p> <p>授業形態：講義</p> <p>学修課題：認知症の医学的基礎知識②</p> <p>学修内容：・認知症の定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な認知症の種類と病態生理（原因疾患を含む）および行動・精神心理症状 ・認知症の診断と治療 ・主な認知症の進行・経過・予後 <p>事前学修：認知症の種類とその診断・治療について、自身の地域の状況を調べてみましょう（診</p>

4	<p>断治療機関の有無，若年認知症支援の状況など公的支援サービスの状況など) 事後学修：自身の地域における認知症の診断治療の課題について考えてみましょう 備考：遠藤</p> <p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の包括的アセスメント① 学修内容：アセスメントツール（センター方式シート，症状生活行動評価尺度など），認知症ケアパスとその活用方法 学習内容：認知症の人と家族の強みの把握，ストレングス，エンパワメント 事前学修：かかわりのある認知症の人と家族の事例をもとに，認知症の主な症状とそれぞれの強みを把握してみましょう 事後学修：認知症の人と家族へのかかわりに学びを活かしてみましょう 備考：原</p>
5	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の包括的アセスメント②，認知症の人の心理とその対応（非薬物療法①） 学修内容：・パーソンセンタードケア，バリデーション，認知症の人と家族の心理 事前学修：認知症の主な症状とそれに伴う心理，行動を踏まえた適切な対応方法について整理してみましょう 事後学修：認知症の人と家族への対応を実際にして，適切な対応について考えてみましょう 備考：原</p>
6	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の包括的アセスメント③，認知症の人の心理とその対応（非薬物療法②） 学修内容：・認知症の人の強みを生かした支援，ユマニチュードなど 事前学修：認知症の主な症状とそれに伴う心理，行動を踏まえた適切な対応方法について整理してみましょう 事後学修：認知症の人と家族への対応を実際にして，適切な対応について考えてみましょう 備考：原</p>
7	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の包括的アセスメント④，認知症の心理とその対応（非薬物療法③） 学修内容：・認知症の行動・心理症状（BPSD）のケア ・認知症の人の尊厳の保持，自立支援について考える，認知症とともに生きる共生社会 事前学修：認知症の主な症状とそれに伴う心理，行動を踏まえた適切な対応方法について整理してみましょう。自身の認知症の人と家族への実践事例を振り返ってみましょう 事後学修：認知症の人と家族への対応を実際にして，適切な対応について考えてみましょう 備考：原</p>
8	<p>授業内容 形態：講義 学修課題：認知症の非薬物療法 学修内容：・リハビリテーション，アクティビティケア，作業回想法 事前学修：認知症の人の機能訓練について調べてみてください。脳機能の維持・回復，身体機能の維持向上と脳機能との関連，対人関係と認知機能との関連など（認知症リハビリテーション，回想法，心理療法を含め，自身の経験や自施設などでの取り組み例など） 事後学修：認知症の人へのかかわりに学びを活かしてみましょう 備考：山上</p>
9	<p>授業内容 形態：講義 学修課題：認知症の非薬物療法② 学修内容：・リハビリテーション，アクティビティケア，作業回想法 事前学修：認知症の人の機能訓練について調べてみてください。脳機能の維持・回復，身体機能の維持向上と脳機能との関連，対人関係と認知機能との関連など（認知症リハビリテーション，回想法，心理療法を含め，自身の経験や自施設などでの取り組み例など） 事後学修：認知症の人へのかかわりに学びを活かしてみましょう 備考：山上</p>
10	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の非薬物療法③ 学修内容：・音楽療法 事前学修：アクティビティケアの事前学修とともに，音楽療法について調べてみましょう。その歴史的経緯，目的，効果，活用の実際など 事後学修：認知症の人へのかかわりに学びを活かしてみましょう 備考：高橋</p>
11	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の非薬物療法③ 学修内容：・音楽療法 事前学修：アクティビティケアの事前学修とともに，音楽療法について調べてみましょう。その歴史的経緯，目的，効果，活用の実際など 事後学修：認知症の人へのかかわりに学びを活かしてみましょう 備考：高橋</p>
12	<p>授業内容 授業形態：演習（フィールドワーク） 学修課題：認知症高齢者を支える地域活動 学修内容：認知症ケアに関連する勉強会・研修会・研究会・認知症の人と家族に関するピア活動への参加 事前学修：公益社団法人認知症の人と家族の会の歴史，目的，活動内容について調べてみましょう 事後学修：活動に参加し，参加した活動について報告書と認知症診断後の支援，認知症の人と家</p>

	<p>族への支援に関するレポートを作成してください 備考： 田中</p> <p>13 授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症高齢者を介護する本人・家族支援 学修内容：自助グループの役割と活動，看護の関わり， 認知症とともに生きる希望宣言，認知症の人ともある家族の権利宣言 事前学修：自助グループ（セルフ・ヘルプ・グループ）について目的・意義等，調べてみましょう。自身がかかわったことのある自助グループについて振り返りましょう 事後学修：自助グループへの自身のかかわり（必要性，関係の継続性）について考えてみましょう 備考： 田中</p> <p>14 授業内容 授業形態：講義 演習 学修課題：認知症終末期における専門的看護支援 学修内容：終末期に生じやすい問題と認知症の人と家族の支援 事前学修：認知症の人の終末期の状態とその時期のケアについて整理してみましょう 事後学修：終末期の認知症の人へのケアの課題について考えてみましょう 備考： 原，小長谷</p> <p>15 授業内容 授業形態：講義 学修課題：認知症の人と家族にかかわるケア倫理 学修内容：認知症の人と家族のケア上，生じやすい倫理的課題とその専門的対応 事前学修：これまでの学修を踏まえ，認知症に係る倫理的課題で検討したいことを考えてみましょう 事後学修：倫理的課題の検討方法について考えてみましょう 備考： 原，小長谷</p>
事前・事後学習	事前学修：既修の認知症の看護を振り返って授業に臨む。自身の隣地実践における認知症を持つ人とその家族等のかかわりに関して振り返る。 事後学修：各回講義資料に次回講義までの事前学修課題を指示する。各単元の学修を通して認知症という疾患，症候群の診断治療をめぐる課題，認知症の人と家族等のニーズと支援，共生社会の実現に向けた認知症への対応の課題について，整理し説明する。
評価方法、評価基準	到達目標1～4に対する右記の評価を行う。フィールドワークの成果：25%×2，授業（討議）への貢献度：50%より評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・トム・キットウッド著/高橋誠一訳（2005）：認知症のパーソンセンタードケア，筒井書房。 ・日本神経学会監修（2018）：認知症疾患治療ガイドライン，医学書院。 ・山口晴保編著（2010）：認知症の正しい理解と包括的医療・ケアのポイント・快一徹！脳活性化リハビリテーションで進行を防ごう，協同医書出版社。 ・黒川由紀子（2014）：認知症と回想法，金剛出版。 ・堀内園子著（2008）：認知症看護入門・誠実さと笑いと確かな技術で包む世界，ライフサポート社。 ・成本迅（2016）：認知症の人の医療選択と意思決定支援，クリエイツかもがわ。 ・イブ・ジネスト，ロゼット・マレスコッティ著，本田美智子監修（2014）：Humanitude ユマニチュード「老いの介護の画期的な書」，（株）トライアリスト東京。 ・村井淳志（2000）：重度痴呆性老人のケア・終末期をどう支えるか，医学書院。 ・（DVD）ビッキー・デクラーク・ルビン，公認日本バリデーション協会監修（2009）：見当識障害のあるお年寄りとの新たなコミュニケーション法・バリデーション法，筒井書房。 ・既習の科目で紹介した参考図書
受講、課題、資料配布等のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習および演習は，ゼミ形式（学習の課題・内容を事前に調べ，授業では発表・討議）で進める。 *授業の詳細は，初回開講時にガイダンスする。
教員からのメッセージ	認知症基本法の施行を踏まえ，認知症の本人の思い，本人支援，認知症フレンドリー社会の構築，家族支援・教育などについて現場での実際を踏まえ，より良い実践のあり方について討論していきたいと思ひます。老年看護高度実践者としての役割や課題を見出し，自己の課題を明確にできることを期待しています。
オフィスアワー	随時（メール調整）